

# BIO Mimetics

バイオミメティクス・市民セミナー

菊池 基弘 (サケのふるさと千歳水族館 館長)

## サケー 謎に満ちた生命の旅

2017年1月7日 (土)

会場：北海道大学総合博物館 / 1階「知の交流」  
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から 午後3時30分



ウマノアシガタ  
Photo by Stan Shebs (2007)  
/ Adapted. CC BY-SA-3.0

北海道を代表する魚ともいえるサケは、北洋海域を数年回遊した後、

産卵のため生まれた川（母川）に戻ってきます。母川の識別は、生まれた川の水の匂いによることが分かってきました。しかし、遠く北洋海域において日本の方向をどうやって知ることができるのかなど、未だ母川回帰の詳しいメカニズムは謎に包まれています。

現在、日本では4千万匹を超えるサケが来遊していますが、そのほとんどは、人工ふ化放流事業によるものだと考えられています。しかし近年、生物多様性の観点から野生魚の重要性が再認識され、野生サケの実態解明に向けた研究も盛んに行われるようになってきています。

身近でありながら、未だ多くの謎に包まれたサケの不思議な生態と、近年変化しつつあるサケを取り巻く状況についてご紹介します。



主催：北海道大学総合博物館  
共催：科学研究費新学術領域「生物規範工学」  
高分子学会北海道支部  
協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館  
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029  
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp